

卒業生の主な進路先

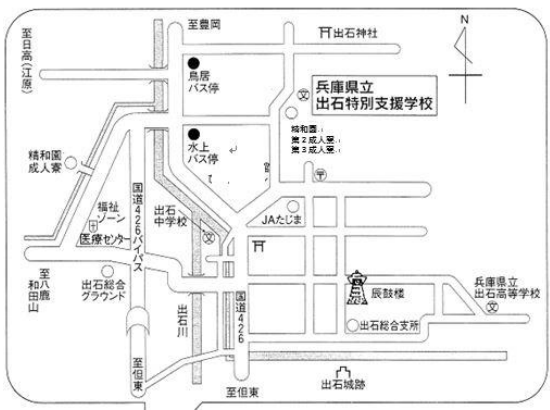
卒業生数と進路

年次 進路	H30 年度		R 元年度		R2 年度		R3 年度		R4 年度	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
就職	1	0	9	2	6	2	5	2	3	1
就労 A 型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
進 学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉 事業所	3	2	3	5	2	3	3	3	3	3
施 設	1	0	1	0	1	2	0	0	0	1
在 宅	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0

体験活動・見学のための協力事業所・施設（但馬内）

豊岡市	(株)誠工社 特養 こうのとりの荘 (株)メイワパックス (株)ファスト さとうフレッシャーズ (有)中島食品 特養 けやきホール (株)大江戸温泉物語 (有)カニッパ ブルーリッジホテル 道の駅 神鍋高原 (株)白バラドライ 県立出石特別支援学校 県立豊岡総合高等学校 県立豊岡聴覚特別支援学校 DAISO	特養 楽々むら ドライブインいずし 特養 出石愛の園 花まんだら (株)東豊精工 豊岡市役所 豊岡市立図書館 休暇村 竹野海岸 奥城崎サイドビル 海鮮うまいもん屋 和平 特養 たじま荘 特養 楽々むら
養父市	白洋社 特養 かるべの郷 (株)とが山温泉 バーガーレストランマルシェ (株)カタシマ	田舎暮らし倶楽部 特養 はちぶせの里 (株)白洋社 マックスバリュ 養父店 (株)カタシマ
その他	香美町立香住小学校 福知山高等技術専門校 姫路学園（姫路市） たかくら（たつの市） モンステラ（奈良県香芝市）	ドリーム甲子園（西宮市） 暮らしの支援わかしのみ（姫路市） メイプル（たつの市） ワークホーム明友（神戸市）

【 学 校 所 在 地 案 内 地 図 】



学校案内

高等部

兵庫県立出石特別支援学校

〒668-0204 兵庫県豊岡市出石町宮内2-8
TEL (0796)52-3565
FAX (0796)52-3566

<https://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/izushi-sn/NC3/>



※複数事業所利用の場合等は、主利用事業所に含む。

【 高 等 部 の 教 育 】

沿 革

- 昭和 4 9 . 4 . 1 出石町宮内に開校
- 昭和 5 1 . 9 . 2 0 新校舎竣工
- 昭和 5 3 . 1 . 1 0 体育館竣工
- 昭和 6 1 . 4 . 1 高等部設置
- 昭和 6 3 . 4 . 8 スクールバス運行開始
- 平成 1 9 . 4 . 1 校名変更

学校教育目標

- 1 個々の障害の状態や教育的ニーズを把握し、個性と能力を向上させる。
- 2 ところ豊かな人格を形成し、将来の自立と社会参加を目指す。
- 3 一人一人の命を尊び、人権を守る教育を推進する。

高等部の目標

- 1 社会生活に必要な技能や態度を育てる
- 2 集団生活への適応力と公共性を育てる
- 3 自ら学び考える心豊かな人間性を涵養する

コース制による教育課程

生徒の能力や障害の状況に応じ、「卒業後のより豊かで安定した生活」を目指し、コース制の中で、個に応じた指導を徹底する。

☆生活コースⅠ、Ⅱ、Ⅲ

日常生活に必要な知識・技能を習得する。

☆社会コース

社会生活に必要な知識・技能を習得する。

主な学校行事(高等部)

前期 入学式・修学旅行・宿泊体験学習

就業体験活動・運動会

後期 就業体験活動・学習発表会

社会体験学習・販売学習

剣道大会・卒業式

夏季休業中 兵庫県特別支援学校技能検定



●演劇ワークショップ（R4）

学習指導のねらいと概要

- 1 各教科の学習
卒業後の生活に必要な「ことばの力」や「コミュニケーション」、「お金や時間」、「社会生活に必要な知識」等に関する基本的な力を育成する。あわせて、マナー、整理整頓、掃除、パソコン入力等の技術を身につけていく。また、多様な学習を通して、「豊かな心」や「生活に必要な技術・能力」、余暇活動にもつながる「楽しむ力」等を育成する。
- 2 特別の教科 道徳
自立した生き方を目指し、各教科・領域、総合的な探究の時間等で、「自己理解」「他者理解」「集団や社会への理解」「生命や自然への理解」を進める。
- 3 特別活動
ホームルーム活動、生徒会活動、委員会活動を通して社会的自立に必要な態度や能力を育てる。幅広い体験活動や交流を通して豊かな人間性を育成する。
- 4 日常生活の指導
基本的生活習慣の確立を目指し、日々の生活の中で個に応じて課題設定を行う。清掃活動や係活動などを通し、自分の役割を果たすことを学ぶ。
- 5 自立活動
障害による学習または生活上の困難を改善、克服するために、個に応じて支援や指導を進める。特に生徒の実態把握を丁寧に行い適切な支援を進め、自立できるよう導く。
- 6 生活単元学習
体験的活動や交流、伝統・文化に関する学習等を通して、青年期に必要な豊かな心の成長を促し、視野を広げる。
- 7 作業学習
生産的活動、サービスの活動を行う中で、職業生活（ワークキャリア）及び生活全般（ライフキャリア）に必要な基礎的技能や習慣を身につける。
- 8 総合的な探究の時間（就業体験活動）
企業や福祉事業所等に通勤（通所）しながら生活するための体験を、高等部 3 年間を通して段階的に行い、自己理解を進め、進路の自己選択へ導く。
- 9 交流及び共同学習
販売学習や体験活動（授業等）、部活動等を通して、近隣高等学校と交流するなど、様々な人と関わりながら豊かな人間性や社会性を養う。
- 10 部活動
陸上や球技等の活動を通して、体力や精神力、人間関係形成能力などを向上させ、卒業後を含めた余暇活動の充実にもつなげる。



●就業体験活動

※令和 3 年度より、従前より実施していた「現場実習」を「就業体験活動（実習）」へ名称変更

〈教育課程 週時程表の例〉

令和5年度 高等部教育課程及び週指導時間数						
高等部教育課程		週指導時間数				
区 分	コース	社 会	生活Ⅰ	生活Ⅱ	生活Ⅲ	訪 問
	学 年	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3	1,2,3
教科別の指導	国 語	2	2	2(1)	(2)	—
	社 会	(2)	(2)	(2)	(1)	—
	数 学	2	2	2(1)	(1)	—
	理 科	(1)	(1)	(1)	(1)	(※)
	音 楽	2	2	2	2	(※)
	美 術	2	2	2	(2)	(※)
	保健体育	4	4	4	(1)	—
	職 業	1 (3)	1 (3)	(2)	(1)	—
	家 庭	2 (1)	2 (1)	2 (1)	(1)	—
	情 報	1	—	—	—	—
道 徳		(1)	(1)	(1)	(1)	—
特別活動	ホームルーム	1	1	1	1	—
自 立 活 動		2 (2)	2 (3)	2 (3)	1 0 (5)	2
合わせた指導	日常生活の指導	2	3	3	5	2
	生活単元学習	2	2	3	10	2
	作業学習	6	6	6	1	—
総合的な探究の時間		1	1	1	1	—
週総時間数		30	30	30	30	6

※「総合的な探究の時間」は就業体験活動を中心に進路関係の学習において実施している。
（ ）は領域・教科を合わせて指導する。
教育課程は個別に計画されるため、上の表の時間数はひとつの例である。



●作業学習（さをり班）



●情報（パソコン入力）



●運動会



●販売学習



●剣道大会